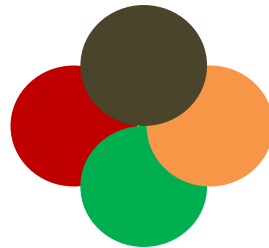


和



学校運営協議会

昨年12月、地震発生後初の学校運営協議会が中央、厚南それぞれの地区で開催されました。

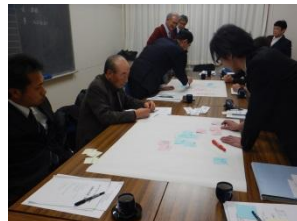
【中央地区】

震災からこれまで取り組んできた様々な対応と、2学期の学習活動について報告がありました。また、地域での子どもたちの様子を委員の皆さんと交流しました。委員の皆さんからは、「臨時休校の間先生方が避難所を回り、子どもたちの様子を見に来ていたことで、安心した子どもたちや保護者は多かったらう。」ということ、また先生方からは、「子どもたちが通学路の変更などで不便な思いをしていますが、周りを気遣うような会話をしている。」という話題になり、今後も、地域と学校が共に子どもたちを見守っていくことが確認されました。



【厚南地区】

地震発生後からの子どもたちの様子を交流しました。子どもたちへの継続した「心のケア」の必要性とともに、復興に向け震災を風化させないように、地域と学校が連携・協働して教育活動に取り組んでいくことが確認されました。また、厚南地区の子どもたちにどのように育ってほしいか、熟議が行われました。「厚真を誇れるよう、ふるさとを愛する人になってほしい。」という思いで、地域で支える授業づくり、地域で子どもを見守る環境づくりに取り組んでいこうと話し合われました。



中央小【佐藤さんの稲】

昨年5月に5年生が体験した田植えですが、震災の影響により収穫ができませんでした。先日、田んぼを提供し、植え方を教えてくださった佐藤さんが学校を訪れ、田んぼにわずかに残された稲を手作りのプラスチックケースに入れたものを児童一人一人に渡されました。稲を受け取った児童からは、心からの感謝の気持ちが伝えられました。



厚真中・厚南中【冬休み学習会】

厚真中学校、厚南中学校の冬休み学習会では学生ボランティアが活用されています。ボランティアの皆さんは、生徒が自主学習に取り組む中、先生方の個別指導をサポートし、生徒からの質問に丁寧に応えてくれました。また生徒たちは、学生との交流を楽しんでいたようです。



上厚真小【書き初め】

4年生から6年生までの子どもたちで行われた書き初めは、書道同好会の木下さん、渡辺さんにサポートをいただきました。子どもたちは、止めや跳ねなど書道の基本を教わりながら、のびのびと字を書き、日本の伝統的な一年の始まりを体験しました。



地域学校協働本部『あつまるねっと』登録受付中です！

好きなこと、得意なことを生かして子どもたちと一緒に活動しませんか？学校で行われている教育活動や、登下校の見守りなどにご協力いただける地域、企業の皆様を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ：厚真町教育委員会
(TEL：0145-27-2495)



★あとがき★

地震が発生してから5カ月、CS通信の発行をお休みさせていただいていました。その間にも、地域の皆さんと学校が連携・協働して様々な学習活動が行われていました。すべてご紹介することができずに残念です…CSがスタートし1年が経ちました。地域の皆さんと子どもたちが一緒に活動する様子に、心が温まります。厚真町教育委員会（小田島）